

製品名: ニューレキシン III β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14597**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	NRXN3
別名	NRXN3; KIAA0743; Neurexin-3-beta; Neurexin III-beta
遺伝子 ID	9369.0
SwissProt ID	Q9HDB5
免疫原	ニューレキシン III β 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 30-110

背景

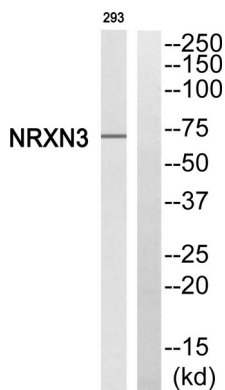
NRXN3 (ニューレキシン 3) は、神経系において受容体および細胞接着分子として機能するタンパク質ファミリーの一員をコードしています。広範な選択的スプライシングと代替プロモーターの使用により、この遺伝子には複数の転写バリエーションとタンパク質アイ

ソフォームが生じますが、これらのバリエーションの多くは全長が未解明です。上流プロモーターから開始する転写産物は、上皮成長因子様 (EGF 様) 配列とラミニン G ドメインを含む α アイソフォームをコードします。下流プロモーターから開始する転写産物は、EGF 様配列を欠く β アイソフォームをコードします。この遺伝子座における遺伝的変異は、アルコール依存症や自閉症スペクトラム障害など、様々な行動表現型と関連付けられています。細胞形態形成、分化に関わる細胞形態形成、神経伝達物質レベルの調節、細胞間シグナル伝達に関わるシグナルの生成、神経伝達物質輸送、細胞運動、細胞接着、細胞間シグナル伝達、シナプス伝達、神経伝達物質の分泌、軸索形成、軸索誘導、シナプス形成、神経インパルスの伝達、生物学的接着、細胞投射の組織化、ニューロン分化、ニューロン投射の発達、細胞による分泌、細胞成分の形態形成、細胞部分の形態形成、細胞外構造の組織化、分泌、ニューロンの発達、ニューロン分化に関わる細胞形態形成、ニューロン投射の形態形成、細胞投射の形態形成、シナプスの組織化、神経系のプロセス、

研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



NRXN3 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが NRXN3 ペプチドでブロッキングされている。